

平成 29 年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	農業機械	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「農業機械」 (実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

農業機械の取扱いと、農業機械の維持・管理に必要な知識と技術を習得させ、機械の構造と作業上の特性を理解させるとともに、実際に機械を扱い機械に慣れる。その中で農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を育てる。

2 学習の到達目標

農業機械の取扱い、維持管理及び利用について学習させる。主としてトラクタ、作業機と原動機を扱い、それらの構造や役割など、農業機械の利用と今日的な課題などについて関心をもたせ、機械を操作する楽しさなどを体験させ、農業機械に対する意欲を学ばせ、育て、理解させること。また、作業上の特性と安全性について理解させ、農業機械を効率的に利用する能力と態度を育成すること

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	農業機械における専門的な知識・技術を主体的に学ぼうとする関心・意欲がある。自ら学び、熱心に、そして安全に取り組む姿勢・態度である。	主体的に機械操作などについて学ぶ。そして、他者と協力しながらも技術操作、安全操作について学ぶことができる。	実践的な学習活動を通して、農業機械の作業上の特性と安全性について理解させ、機械を効率的に利用できる。機械を安全に扱うことができる。	農業機械に関する基本的な特性を理解し、機械の特性に関する基礎的な知識を身に付け身に付け、農業の効率化の重要性を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート レポート 機械操作	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査 機械操作	学習状況の観察 機械操作	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
年間	1、農業機械化の役割	機械化による農作業の改善と農業経営の発展をはかるために、機械化と農業経営の関係を理解させる。	○	○		○	a: 農業機械における専門的な知識・技術を主体的に学ぶうとする関心・意欲がある。自ら学び、熱心に、そして安全に取り組む姿勢・態度である。 b: 主体的に機械操作などについて学ぶ。そして、他者と協力しながらも技術操作、安全操作について学ぶことができる。 c: 実践的な学習活動を通して、農業機械の作業上の特性と安全性について理解させ、機械を効率的に利用できる。 機械を安全に扱うことができる。 d: 農業機械に関する基本的な特性を理解し、機械の特性に関する基礎的な知識を身に付け身に付け、農業の効率化の重要性を理解している。	学習状況の観察 ノート レポート 機械操作 定期考査
	2、機械の構造について	農業生産に関わるエネルギーの種類と動力源について理解させる。 エンジンは、圃場で農業機械を操作するうえで最も基本的な原動機であるので、その正しい取扱い方を身につけさせる エンジンの原理と作用および種類について、ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの違いを含めて理解させる。	○			○		
	3、農業機械の利用	農業機械にはどのような種類があるか、また、どのような分類方法があるかを理解させる。	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。